

社会を希望で満たす働きかた ～ソーシャルデザインという仕事～



デザインという言葉から何を思い浮かべますか。現在、デザインという言葉は、物事の表面を美しく見せるだけの意味にとどまらず、より広い意味を持って、行政、ビジネス、福祉、教育といった様々な分野で使われています。

今回の適塾路地奥サロンでは、知的に障がいのあるアーティストが集い、東京2020オリンピック・パラリンピックの「公式アートポスター」を描いたり、世界的に評価の高いアーティストを輩出した工房「アトリエ イン カーブ」を運営する今中博之氏をお招きし、「社会的課題」を「希望」に変える「ソーシャルデザイン」という仕事についてお話しいたします。



いまなか ひろし
講師 今中博之氏

ソーシャルデザイナー。社会福祉法人「素王会」理事長。「アトリエ インカーブ」クリエイティブディレクター。イマナカデザイン一級建築士事務所代表。大阪大学男女協働推進センター 招へい教授。金沢美術工芸大学 非常勤講師。公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員会委員、エンブレムデザイン選考委員等。
偽性アコンドロプラージア（先天性両下肢障がい）。アトリエ インカーブに集う知的に障がいのあるアーティストの作品を国内外の美術館やアートフェアに発信。グッドデザイン賞などを受賞。

主な著作に、『壁はいらない(心のバリアフリー)、って言われても。』（河出書房新社）、『アトリエ インカーブ物語 アートと福祉で社会を動かす』（河出文庫）、元厚生労働事務次官・村木厚子氏との共著『かっこいい福祉』（左右社）、『社会を希望で満たす働きかた ソーシャルデザインという仕事』（朝日新聞出版）など。

令和4年 **3月18日(金)**
18:30～Start

申込方法



弊社ホームページ若しくは下記 URL の申込フォームから3/16(水)までにお申し込み下さい。
QRコードよりフォームの URL が取得可能です。
<https://forms.gle/H7qDfDrPw6hAKet8A>

※お申込み出来ない場合は、
①氏名②所属③電話番号④メールアドレスを明記した上、rojtokusalon.arpak@gmail.com までご連絡ください。

参加費 無料

会場 完全オンライン開催(定員上限なし)